

照明器具による事故

事故の概要

【事例①】照明器具から発煙し、発火した。

【事例②】照明器具に取り付けられていた木枠付きシェードカバーが外れて落下し、顔に当たって重傷を負った。

【事例③】玄関のセンサーライトが倒れ、ダンボール等が燃えて廊下が焦げた。



事故の原因

【事例①】長期使用(約28年)により、安定器の巻線が絶縁劣化したためにショートしたものです。

【事例②】照明器具の取り付け方法を誤ったために、シェードカバーが落下したものです。

【事例③】センサーライトを固定しないで下駄箱の上に置いていたために倒れ、落下したランプの熱で近くに置いていたダンボールに火がついたものです。

【NITEの再現実験】



取り付けが不完全だったために
蛍光灯のカバーが落下した



事故防止のために

◆照明器具を長期間使用すると、部品が経年劣化して破損・発煙・発火することがあります。点滅や異音などの異変を感じたら販売店等に相談してください。

◆器具の取り付けは、取扱説明書通りに行ってください。

◆器具やランプを布や紙等で覆ったり、近くに可燃物を置いたりしないでください。熱により発煙・発火することがあります。

◆ランプを落としたり、物をぶついたり、無理な力を加えないでください。ガラス表面に傷がつき、破損することがあります。

